

AQL

新型コロナウイルス感染症 対策マニュアル

【第1版】2020年7月4日
AQL／全日本クイズリーグ

本マニュアル策定にあたって

2020年初頭に始まった新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的パンデミックは、我々の生活様式に大きな影響を与えています。感染拡大が落ち着く時期こそあれ、ウイルスは即座に消滅するようなものではなく、今後社会として長く付きあっていく前提で対策を実施していく必要があると考えます。

AQLは「社会にも認められる大会」を目指すことを掲げており、公的機関から要請がある限り感染拡大を防ぐ責務があると考えています。

クイズ大会は通常通りに開催すればいわゆる「3密」「接触感染」を避けられません。その中で、感染リスクを避けながら開催できるよう、AQL執行部で議論し、その結果を踏まえ作成したのが本マニュアルとなります。

クイズ大会の場で「クラスター感染」を起こさないよう、皆さんの協力が必要です。宜しくお願い致します。

2020年7月4日 AQL会長 市川尚志

本マニュアルの位置づけ

本マニュアルは、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」と言います。）に関し、AQLに参加する全ての人が、それぞれの立場で取るべき基本的な対策をまとめたものです。

<補足性／優先性>

本マニュアルは、「AQL安全マニュアル」を補足するものです。そのため、本マニュアルに定めが無いことは、「AQL安全マニュアル」が適用されます。

一方で、本マニュアルと「AQL安全マニュアル」が競合する場合は、本マニュアルを優先します。

<本マニュアルをベースにした対策を行う期間>

AQL並びにAQL安全基準準拠大会では、行政機関よる感染症対策要請が行われている期間にリアルで大会を開催する場合は、本マニュアルをベースに感染症対策を行うことを必須とします。

免責

- 本マニュアルは、多人数が参加する早押しクイズの団体戦「AQL／全日本クイズリーグ」を念頭に作成しています。他の非営利クイズ大会を開催するにあたり、本マニュアルを参考・改定していただいても構いませんが、発生した出来事への責任は各大会で負ってください。
- 本マニュアルを「AQL各地域リーグ」「AQL安全基準準拠大会」が、各大会の事情に基づき改定して使用する場合、修正箇所を赤字で明記し、修正した責任者を明示した上で、広くファイルを公開して下さい。
- 本マニュアルは、担当者等が得た情報等に基づいて作成・改定し、正確かつ完全なものとなるよう努めていますが、それらを保証または約束するものではありません。また、今後公的機関からの要請内容の修正に伴い、予告なしに内容を変更する場合があります。

準拠

以下のガイドライン・指針等に準拠します。

- (1) 「新しい生活様式」の実践例（厚労省5/4）
- (2) 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための
ロードマップ（東京都5/26）
- (3) 公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防
ガイドライン（公益社団法人全国公民館連合会5/14）
- (4) 新型コロナウイルス感染の拡大に対応した施設の利用について
（国立オリンピック記念青少年総合センター6/15）

感染予防対策

1. 大会開催について

(1) 開催の可否 (2) 参加(選手・スタッフ)の可否

2. 大会開催時の感染予防

(1) 基本方針 (2) 事前準備

(3) 自宅または滞在先出発前～移動

(4) 会場到着、入場前後

(5) 会場設営 (6) クイズ実施 (7) クイズ後

3. チェックシート

1. 大会開催について

(1) 開催の可否

新型コロナに関連して、下記①～③のいずれかに該当した場合、時期によらず大会は開催できないものとします。

①開催地の地方自治体から、イベント等の開催中止・自粛を求められたとき

例：緊急事態宣言（措置）

<参照> AQL安全マニュアル（イ）－②－1.

1. 大会開催について

(1) 開催の可否

②【ジュニアの部のみ】参加予定の教育機関のうち3割以上で、部活動または校外活動が禁止や自粛となったとき

<参照> AQL安全マニュアル (イ) - ② - 4.

③大会中に、参加不可者の参加が判明した場合

⇒この場合、必要に応じ以下を実施

- ・ 該当者を会場内の別室に隔離する
- ・ 保健所や医療機関等への報告・指示に基づく対処

1. 大会開催について

(2) 参加の可否

●本人及び同居家族が下記①～⑤のいずれかに該当する場合は参加不可とし、来場を禁止します。

- ①治療中（無症状陽性含む）及び治療後の健康観察対象の方
- ②濃厚接触もしくはその疑いのある方
- ③**体調が優れない方（息苦しさ、倦怠感、解熱剤を服用しなければ37.5℃以上の熱がある、味覚異常、嗅覚異常）**
- ④外国から帰国・入国後2週間以内の方
- ⑤2週間以内に外出自粛・他都道府県への移動自粛を要請された地域への訪問・滞在（居住）がある方

2. 大会開催時の感染予防 (1) 基本方針

- ①密閉・密集・密接の「3つの密」が重なる場面の回避
- ②手洗いやアルコール消毒のこまめな実施。

手洗い		アルコール消毒
<ul style="list-style-type: none">・施設によって手洗場の状況（数、アクセス、石鹸の配置等）が異なる・手洗場に参加者が集中し「3つの密」となるおそれ	留意点	<ul style="list-style-type: none">・十分な量の薬剤やスプレー容器の調達
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf	方法	https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000334134.pdf

※手洗いもアルコール消毒も適切な方法で実施しなければ効果を得られない。

※手洗いとアルコール消毒を重複して行う必要は無い。

- ③徹底した飛沫予防を行う

2. 大会開催時の感染予防

【凡例】

- ◎ **必ず実施する予防策**
- 実施すべき予防策
- △ 可能なら実施する予防策

(2) 事前準備

<会長・地域代表（以下「会長等」。代行や担当者含む）>

- ◎ **「行政機関が定める収容定員」「窓やドアを開放して換気」等の感染予防策がとれるよう、試合形式や部屋の配置等を調整する。**

2. 大会開催時の感染予防

<会長・地域代表（以下「会長等」。代行や担当者含む）>

- ◎ **加盟団体の長や引率者に対し、感染予防に必要な指示（必要物品の調達や持参等）をする。**

※参加者必要物品の例：ハンカチ、替えのマスク、アルコールティッシュ等

- **消毒液等の必要物品を調達する。**

<加盟団体の長や引率者>

- ◎ **構成員に対し、会長等からの指示を周知する。**
- ◎ **構成員の連絡先を確実に把握する。**

2. 大会開催時の感染予防

(3) 自宅または滞在先出発前～移動

- ◎ **体調を確認する（検温含む）。**
- ◎ **マスクを着用し、鼻と口を確実に覆う（帰着するまで）
マスクを含め、顔面を触らない。**
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ」を、大会の3週間前からインストールし機能を有効化し携帯する
- 爪を短く切る。付け爪は外す。
- 他人との濃厚接触（特定の人物と1m以内かつ15分以上の接触）を極力避ける
- 公共交通機関内では会話を控える
- △ 混雑していない時間帯に移動する。

2. 大会開催時の感染予防

(4) 会場到着、入場前後

<参加者>

◎ **改めて体調を確認。加盟団体の長や引率者は、構成員についても確認する。**

◎ **入場後直ちに、手洗いまたは手指を消毒する。**

<会長・地域代表（以下「会長等」。代行や担当者含む）>

◎ **会場入口で参加者が正しくマスクを着用しているか確認する。**

△ **参加者を入り口で検温する。**

2 - 3.大会開催時の感染予防策

(4) 会場設営

<全般>

- ◎ 窓やドアを開放し、換気しながら設営する。
- ◎ 行政機関が定める収容定員以内の人数で設営する。
- ◎ 会話は最低限とし、大声は控える。大きな会場での指示はマイクを用いる。
- ◎ 完了後は直ちに手指のアルコール消毒や手洗いをする。

2 - 3.大会開催時の感染予防策

(4) 会場設営

< 解答席 >

- ◎ **問読みや進行、対戦チーム、観戦者との距離を1 m (可能なら2 m) 以上確保する。**
- **同一チームメンバー間は、発声が直接お互いにかからないよう横並びとし、可能な範囲で距離を取る**

* 「チームをまたぐ接触」は大規模クラスターにつながるため、より優先して避けるルールとする。

- 席配置は行政機関が定めた手法（四方を空ける等）を参考にする。
- △ 対戦チームとの間や、解答者の間に衝立を設置する。

2 - 3.大会開催時の感染予防策

(4) 会場設営

< 問読み・進行席 >

- マイクの設置
- △ 衝立の設置
- △ 問読みの事前録音

※ 問読みに関する感染予防策においては、早押しクイズに関する戦術（口の動きを読む等）や音響の条件が出来るだけ等しくなるよう留意する。

< 観客席（ホール以外は不設置） >

- ◎ **席配置は行政機関が定めた手法（四方を空ける等）を参考にする。**

2 - 3 .大会開催時の感染予防策

(5) クイズ実施

◎ **発声は最低限とする。大声は控える。**

<参加者>

◎ **入室直前に石鹸による手洗い、
もしくは入室直後に手指のアルコール消毒を行う。**

◎ **早押しボタンをアルコール等で消毒する。
(同一ボタンを連続して使用する場合は不要)**

◎ **使用後のアルコールティッシュ等はビニール袋にしまう。**

2 - 3.大会開催時の感染予防策

(5) クイズ実施

< 問読み・進行 >

- ◎ 早押し機の操作ボタンをアルコール消毒する。
- ◎ 参加者が入室直前に石鹼による手洗い、もしくは入室直後に手指及び早押しボタンをアルコール消毒したことを確認する。
- 窓やドアを開放して換気する。（熱中症にも留意）

（外気との空調による直接換気が行われていることを確認できている部屋については、換気ボタンがついていることを確認）

2 - 3 .大会開催時の感染予防策

(6) クイズ後

- ◎ 廊下での「3つの密」を避けるため、部屋の移動はスタッフの合図で全員同時・迅速に行う。
- ◎ 試合が終了したら、直ちに窓やドアを開放して換気する。
- ◎ 会話は最低限とし、大声は控える。
- 次のクイズまで時間があるときは手洗いをする。
- ◎ 参加するクイズが全て終了したら、手洗いをして直ちに帰宅する。
- ◎ 懇親会等大人数での会食はしない。

2 - 3.大会開催時の感染予防策

(7) 帰着後

- ◎ **直ちに手洗いをする。可能なら入浴する。**
- ◎ **大会後2週間以内に新型コロナへの感染が疑われる症状が出た場合は、関係機関に相談・受診するとともに、加盟団体の長や引率者を通じて会長等へ連絡する。**

※結果として誤報や陰性であっても構わないので、何よりも迅速な連絡を！！

- ◎ **感染が確定した場合は療養と拡大防止に努める。保健所等による疫学調査等に協力する。**
- 感染確定の連絡を受けた会長等は、個人情報に配慮しつつ、必要な情報提供等を行う。

3. チェックシート

(1) 参加者・スタッフ・引率者

大会に関わる全員が以下の5項目に該当しないことを申告したチェックシートを提出（Webフォーム・紙いずれも可）。

大会運営側は1か月保管する。

① コロナウィルス感染症治療中（無症状陽性含む）及び治療後の健康観察対象ではありません	<input type="checkbox"/>
② コロナウィルス感染症保菌者（疑い含む）との濃厚接触はその疑い含めてありません	<input type="checkbox"/>
③ 体調不良（息苦しさ、倦怠感、解熱剤を服用しなければ37.5℃以上の熱がある、味覚異常、嗅覚異常）ではありません	<input type="checkbox"/>
④ 外国から帰国・入国し、2週間以内の者ではありません	<input type="checkbox"/>
⑤ 2週間以内に外出自粛・他都道府県への移動自粛を要請された地域への訪問・滞在はありません	<input type="checkbox"/>

3. チェックシート

(2) 会場

大会で使用する各部屋の責任者が毎試合開始前にチェックする
チェックシートは大会本部に提出する。

大会運営側は1か月保管する。

入室人数は、行政機関が定める範囲内であること (定員を超える場合、参加者・運営コアスタッフ(問読み等)以外は部屋を出る)	<input type="checkbox"/>
入室者全員がマスクを着用し、手洗いもしくは手指の消毒を行っていること	<input type="checkbox"/>
早押し機(使用にあたり人が触れる部分)について、消毒を行っていること	<input type="checkbox"/>
プラスチック製のもの(ネームカード等)は、貼り付け・回収においてチーム代表者以外極力触らない	<input type="checkbox"/>
問読みや進行、対戦チームとの距離を最低1m以上保てていること ※できれば2m	<input type="checkbox"/>
試合間の換気が行われたこと ※できれば換気をしながら試合を進行する。 (空調による外部との直接換気が可能なことを確認した場合、機械による換気で代替可能)	<input type="checkbox"/>
適切な会場レイアウトとなっていること	<input type="checkbox"/>